

おうちの方へ

3月に入り、日差しが暖かい日が多くなってきました。学校では、6年生の卒業に向けての準備が始まり、慌ただしさの中にも緊張感が出てきました。まだまだ感染症予防を徹底しながらの活動にはなりますが、たくさんの思い出とともに元気に卒業式を迎えられることを願います。

【家族に風邪症状があるときは～家庭での感染症予防～】

西原小では、学級閉鎖や学年閉鎖が続いています。学校でも引き続き感染対策を徹底していきますが御家庭でも感染が広がらないよう御協力をお願いします。

【食事】

感染している人が口を付けたおはしや食器にはウイルスがついている可能性があります。事前に取り分けておいたり、食事の時間をずらしたりしてできるだけウイルスの感染を防ぎましょう。



【ごみ】

感染している人が鼻をかむと手にウイルスがつきます。その手でドアノブなどに触ってウイルスを広めないように、すぐに手を洗ってもらいましょう。鼻をかんだティッシュは蓋付きのごみ箱にすてましょう。



【マスク】

感染している人のせきやくしゃみでウイルスが飛び散るので、家族全員でマスクを着用するようにしましょう。マスクを外すときは、必ずマスクのひもを持つようにしましょう。そのまま、蓋付きのごみ箱に捨てましょう。



のうせきずいえきげんしょうしょう

脳脊髄液減少症を知っていますか？

「脳脊髄液減少症」とは、脳脊髄液が減少することが原因で頭痛や悪心、めまい、耳鳴りなどの症状が出現する疾患です。交通事故やスポーツ中の外傷性の頭部打撲が原因になることがあります。

保健室のけがの来室理由で一番多かったのが「打撲」でした。特に首から上の怪我については、些細な事例でも御家庭に連絡させていただいています。痛みが治まってからも、頭痛などの症状が続く場合には、上記のような疾患の可能性もありますので病院受診をお勧めします。受診した際は、学校にもお知らせください。



2年生が「おへそのひみつ（学級活動）」を題材に性についての学習をしました。

「おへそ」は何の役目をしているのかな？というテーマで、赤ちゃんがおなかの中で育つ様子や、産まれてからへその緒を切って今のおへそができるまでについて学習しました。

☆動物のおへそあるなしクイズ

おへそがある動物は、たまごではなく、お母さんのおなかから、赤ちゃんで生まれてくる。

☆たいぼんの役割

赤ちゃんが育つのに必要な栄養のタンク

☆へその緒の役割

赤ちゃんに必要なもの（酸素・栄養）をあたえて赤ちゃんに必要なものをお母さんの体に運ぶ。



おへそは、おかあさんと赤ちゃんの命がつながっていた証拠です！

〈児童の感想〉

- ・おへそは、おかあさんとながっていた大切なんだとわかった。
- ・おなかの中では、水の中にあることがわかった。
- ・へそのおがないとせいじょうできなかったということがわかった。
- ・あかちゃんのにんぎょうをだっこしたら、おもかったけどかわかった。
- ・おかあさんにうんでくれてありがとうといいたいです。

保健室の一年間



保健室には、いろいろな理由で児童が来室します。けがや病気以外にも心配なことがあったり、友達とけんかしてしまったり、不安で来室する子もいます。今年度は、感染症が流行している時期にはゆっくり話を聞くことができないこともありましたが、保健室から教室に戻るときに少しでも笑顔がもどるようお手伝いができればと思い関わってきました。

保護者の皆様には、感染症対策や受診等をお願いばかりの一年になってしまいましたが、おかげさまで眼科72.6%、歯科57.9%と昨年度にくらべて受診率が大きくあがりました。子供たちの健康管理のために御協力ありがとうございました。

6年生とは、保健室で楽しくおしゃべりする時間は少なかったのですが、行事が少ない中でも一生懸命会場の準備をしたり、1年生と手をつないで登校したり、清掃の仕方を優しく下級生に教えたりする姿を見て、体だけではなく心も大きく成長していることを実感しています。1年生から5年生もこの一年でできるようになったことや好きになったことも増え、心も強く優しく成長しているはずです。春休みは、ぜひそんなところを褒めてあげてください。そして、新年度に向けて心と体の準備のお手伝いをお願いします。

